

令和7年度

# 浜松市立相生小学校 第4回 学校運営協議会

令和8年 2月25日(水)

感謝する会 8:15～ 8:35

まとめの会 8:40～ 9:20

協議会 9:30～11:00

場 所 多目的室・体育館

## 次 第

〈 司会：前田 記録：伊藤 〉

開会 開催要件(過半数の出席)確認

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 議長の選出

4 前回会議録確認

5 熟議 〈 議長：中川 記録：伊藤 〉

(1) 後期学校評価について

(2) 来年度学校運営の基本方針について

(3) 学校運営協議会の自己評価について

6 報告

- ・学校支援CDからの活動報告
- ・夢育やらまいかCS加算分の報告

7 連絡

- ・来年度開催日時予定

第1回 令和8年5月12日(火) 13:20～

- ・学校運営協議会委員研修会(オンライン)について

日時：本日14時00分～ 会場：相生小多目的室

## 令和7年度 第3回相生小学校運営協議会 会議録（要点記録）（※敬称省略）

- 1 開催日時 令和7年11月12日（水） 13時45分から16時00分
- 2 開催場所 相生小学校 多目的室
- 3 出席委員 大谷一雄、水谷加寿代、原隆之、廣野篤男、鈴木麻衣子、  
中川有香（学校支援コーディネーター）、高橋克好、鈴木徹也
- 4 欠席委員 森田賢児
- 5 オブザーバー 神谷匠（東部協働センター）
- 6 学校関係 小林延和（校長）、岡本綾子（教頭）、前田武稔（主幹教諭）、  
伊藤龍彦（CSディレクター）
- 7 学校支援コーディネーター 松本薫
- 8 浜松市教育委員会 学校・地域連携課地域連携グループ 鈴木陽子
- 9 傍聴者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 伊藤龍彦

### 11 議長の選出

司会から、議長の選出について意見を求めたところ、中川委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

### 12 協議事項

- (1) 「多様性を認め合える安心感のある学級・学年・学校づくりの具体策」について  
～「学校の現状」を知っていただき、「支援の方法や関わり方」について共に考える～

### 13 会議記録

司会の前田主幹教諭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### **（熟議）「多様性を認め合える安心感のある学級・学年・学校づくりの具体策」について**

##### **《児童の安全な生活のために》**

##### **① 登下校時の安全確保**

- ・ 登下校については、地域が一番手伝いやすい。しかし、新規で参加する人の確保が、課題となっている。（廣野委員）
- ・ 地域の方への呼び込みが課題である。学校が、もっと門戸を広げてはどうか。地域の方も、見守りや昔の話などで、学校と連携することが、できるのではないかと。（麻衣子委員）
- ・ 学校が地域に門戸を広げてくれるとありがたい。（水谷委員）
- ・ 昔は、ワンワンパトロール隊などがあり、見守りや声掛けをしてくれていた。今でも、犬を連れて散歩する人が多数いる。うまく連携が取れば、散歩の方が、見守りになる。（原委員）
- ・ それにより、防犯効果も高まるのではないかと。（会長）
- ・ 黄色いピブスは、各町内に案内して、行くのがよい。江東地区の理事会で、紹介する。100枚くらい必要になる。（廣野委員）
- ・ 散歩コースの一環として、学校を含むというのはどうか。他の人がしているボランティア活動の様子を『見る』ことで、広がる。（麻衣子委員）

◎ たすきの申込用紙を、学校で準備して、学校だよりを配布するタイミングで同封して活動に参加してもらおう。

##### **② 始業前の時間における子供たちの安全な居場所の確保**

### ③ 休み時間（特に昼休み）における質の高い見守りと指導

- ・ 朝の運動は、楽しみにしている子も多く、ストレスを発散させることができ、子供たちにとっては、いいことだと考えている。（校長）
- ・ 学校として、この見守りが難しいと考えている点はどこか？（中川委員）
- ・ 時間帯的にボランティアが集まるかどうかという点と教職員の勤務時間外であるという点。最近、朝の外遊びをやめている学校もある。（校長）
- ・ CSルームを作って欲しい。休憩・待機・コミュニティの場となり、活動時間帯以外でも使用や急な助っ人も可能になる。（麻衣子委員）
- ・ 地域のボランティアの方が足を運んでくれる学校づくりも必要だと考える。（校長）

### 《児童の充実した学習のために》

#### ④ 授業中の個に応じたきめ細やかな学習支援

#### ⑤ 子供の主体的で意味のある家庭学習の実現と質の向上

- ・ たとえば九九の練習量は、長男の時より徐々に減っている。九九を聞くボランティアがあると助かる。教えるのではなく、確認・聞くだけならできると思う。（中川委員）
- ・ 賛成。時期的に集中して人を増やす。CSボランティアを活用できる。漢字の丸つけなどもできるのではないか。（会長）
- ・ 子供が、遊びの誘惑の中で、なかなか集中できない。集中するという状態を分かっている。それを分かるようにする方法が、何かあるか？（鈴木徹也委員）
- ・ 小学生ぐらいだと、ご褒美作戦（ポイント・シール・パス券）が有効だと思う。（麻衣子委員・中川委員）
- ・ 小学校と中学校の差。小学校からの学習姿勢、習慣が必要だが、家庭学習が減少傾向にある。中学への学力につながらない。先生の負担が大きいならば、専門家や企業などと連携が取れないか。（学校支援CD松本）
- ・ 大学生に依頼できないか。（中川委員）
- ・ 小、中の学習内容のギャップがあり、勉強嫌い、苦手が増え、二極化してきている。学習習慣や基本を身につける必要がある。（会長）
- ・ テストの勉強の仕方がどうしたらいいのか分からない。自主勉ノートのやり方ができる子もいるが、子供たちへのやり方の提案もして欲しい。（中川委員）
- ・ 学内の掲示板も図書ボランティアの環境整備で対応できるかもしれない。（麻衣子委員）
- ・ CSだよりや風・太応援団だよりも地域回覧してもいいのではないか。（会長）
- ・ 学校の電話対応が人手不足で大変と聞く、電話対応時間を限定してはどうか。（原委員）
- ・ 学校への要望として、CSルームをつくることによって活動がスムーズになると思う。（麻衣子委員）

#### 14 その他の報告事項等

司会から令和7年度第4回学校運営協議会は、2026年2月25日（水）8：00～

11：00 多目的室で開催する旨の報告があった。

8：15～ 8：35 感謝する会

8：40～ 9：20 風の子・太陽の子応援団まとめの会

9：25～11：00 学校運営協議会

# 令和7年度〔後期〕学校評価アンケート(12月)

前回比 +3以上↑ +6以上↑↑  
 前回比 -3以上↓ -6以上↓↓  
 79以下は**赤字**

R7.12実施

	児童	よく出来ている+大体できている(%)	保護者	よく出来ている+大体できている(%)	教職員	よく出来ている+大体できている(%)
なりた 学びたい 自分に向 かっ成 長つて 主 体的 に	授業で学ぶことの意味や目的、学ぶ良さが分かっている。	93 前期 93 R6 88	子供は学ぶ意味や目的、学ぶ良さが分かっている。	78 前期 76 R6 79	学ぶ意味や目的、学ぶ良さを子供たちが分かるような授業をしている。	86 前期 86 R6 96
	学習のめあてを解決するための調べ方や話し合いの仕方が分かっている。	91 前期 90 R6 85	子供は、課題解決の方法(調べ方、まとめ方など)や手順などの学び方が分かっている。(ノート記述、レポート、作品など)【単一選択(必ず一つを選択)】	73↑ 前期 69 R6 70	子供たちが学び方が分かるように、手立てを講じている。 (☑後期変更・・・学年の段階に応じて「課題の提示」「活動のめあて」「情報の収集」などを活用し、相生スタンダードを目指して、子供たちが主体的・協働的に学習を進めるための「学び方」が分かるように手立てを講じている。	90↓ 前期 95 R6 92
	授業で目当てについて考えるときに、前に学んだことつなげたり友達の話聞いて自分の考えと比べたり違いや同じところを探したり理由をつけて自分の考えを言ったりしている。	81↓↓ 前期 87 R6 85	前に学んだことつなげたり、自分の友達の考えを比べたり、いくつかの資料の中から最適なものを選んだり、共通点や違いを見つたりするなどして、課題について考えている。	76↑↑ 前期 69	「比べる」「仲間分けする」「つなげる」「順序良く並べる」「類推する」などの考え方を示し、授業をしている。	67↑↑ 前期 48 R6 64
		87	子供は、家庭学習に進んで問い組んでいる。	69↓ R6 82 R5 78.2	子供たちが、主体的に家庭学習を進めるための手立てを講じている。(家庭学習の事前指導、家庭への説明、見届け、称揚など)	85
		94	子供は、持ち帰ったタブレットについて、学校や家庭の約束を守り、家庭学習で活用している。	90	クロームブック活用の仕方(情報モラル指導含む)について説明をし、主体的・協働的な学びにつながるための手立てを講じている。	76

自 他 の よ さ を 知 り 、 認 め 合 い 高 め 合 う 子	友達のよいところに気付くことができている。	96↑ 前期 93 R6 91 R5 88	子供は、友達のよいところに気付く、協力し合うことができている。	93 前期 93 R6 95 R5 92.5	自分や友達のよいところを認め、仲良く生活できるような手立てを講じている。	90 前期 91 R6 96 R5 89.0 R4 86.2
	よいことと悪いことを判断し行動することができている。	91↑↑ 前期 85 R6 82 R5 82.8 R4 87.4	子供は、よいことと悪いことを判断し、正しく行動することができている。	92 前期 91 R6 89 R5 91.7	善悪を判断し、行動できるような手立てを講じている。	90↓ 前期 96 R6 100 R5 100 R4 89.7
	いつでもだれに対してもあいさつをすることができている。	87↓ 前期 92 R6 89 R5 85.0 R4 82.9	子供は、地域や家庭で進んで挨拶することができている。	75↓ 前期 79 R6 77 R5 85.2	いつでも誰にでも挨拶ができるような手立てを講じている。	80↓↓ 前期 91 R6 79.2 R5 59.0 R4 69
	よりよい学級・学年・学校にすることを進んで働くことができている。	89↓ 前期 94 R6 92 R5 88.9 R4 86	子供は、人のために進んで働くことができている。	89 前期 88 R6 85 R5 84.9	よりよい学級・学年・学校にすることを進んで働くことができるような手立てを講じている。	89 前期 91 R6 92 R5 100 R4 93.1

あ き ら め ず に 挑 戦 し 続 け る 子	体を動かすことが楽しく学校で進んで運動している。	84 前期 84 R6 82 R5 84.4 R4 88.7	子供は、体を動かすことが好きで、学校で進んで運動している。	83 前期 85 R6 83 R5 84.7 R4 80.3	体を動かす楽しさを味わい、進んで運動するよう手立てを講じている。	90↑ 前期 85 R6 91.6 R5 76.0 R4 96.6
	健康に気を付けて、生活している。	91 前期 92 R6 86 R5 86.7	子供は、健康に気を付けて生活している。	91 前期 89 R6 91 R5 91.1	健康に気を付けて生活ができるような手立てを講じている。	90↓ 前期 95 R6 96.2 R5 86
	周りをよく見て安全に生活することができている。	91↑ 前期 87 R6 88 R5 86.1 R4 91.4	子供は、周りの状況を見て安全に生活することができている。	93 前期 92 R6 91 R5 91.7 R4 93.4	周りの状況を見て安全に生活できるような手立てを講じている。	90↑ 前期 86 R6 84.6 R5 79.0 R4 72.4

キ ャ リ ア 教 育	相手の話をよく聞き、友達と協力して行動している。	91↓ 前期 94 R6 89 R5 89.3 R4 91.8	子供は、相手の話をよく聞き、友達と協力して行動することができる。	93 前期 94 R6 90 R5 90.1 R4 90.5	子供が相手の話を聞き、友達と協力して行動できるような手立てを講じている。	85↓ 前期 90 R6 92 R5 84.0 R4 86.2
	自分のよさに気付き、自信をもっている。	82 前期 83 R6 79 R5 75.2 R4 79	子供は、長所を伸ばしたりさらに高めようと努力したりしている。	83 前期 84 R6 82 R5 83.1 R4 81.2	子供が自分のよさに気付き、自信をもつような手立てを講じている。	89 前期 91 R6 100 R5 87.0 R4 86.2
	失敗を恐れず自分の考えた方法で繰り返し挑戦している。	87 前期 88 R6 84 R5 81.1 R4 80.7	子供は、失敗を恐れず自分の考えた方法で繰り返し挑戦することができる。	73 前期 72 R6 72 R5 72.6 R4 68.5	子供が失敗を恐れず自分の考えた方法で繰り返し挑戦できるような手立てを講じている。	84↑↑ 前期 76 R6 88 R5 80.0 R4 79.3
	夢や目標に向かって努力したり、意欲をもって学ぶことができる。	89 前期 90 R6 88 R5 88.5 R4 89.3	子供は、夢や目標に向かって努力したり、意欲をもって学んだりすることができる。	79 前期 78 R6 78 R5 76.4 R4 77.8	子供が夢や目標に向かって努力したり、意欲をもって学ぶことができるような手立てを講じている。	85 前期 85 R6 95.8 R5 97.0 R4 89.7

児童	よく出来ている+大体できている(%)	保護者	よく出来ている+大体できている(%)	教職員	よく出来ている+大体できている(%)
学校は楽しい。	88 前期 90 R6 89 R5 90.4				
先生は、よいところをほめてくれる。	90↓ 前期 93 R6 94 R5 90.7				
先生は授業でキャリア教育で育てたい4つの力について話してくれる。	89 前期 88 R6 87 R5 89.1	相生小のキャリア教育で育てたい4つの力について知っている。	77 前期 76 R6 85 R5 76.6	※ ↓R7前期に下線部を加えた。	
先生はchromebookを使った授業をしてくれる。	96 前期 94 R6 94 R5 84.4	学校は、タブレットパソコンや大型テレビなどのICT機器を使って授業をしている。	95 前期 94 R6 93 R5 80.8	業務を行う際にICT機器を積極的に活用したり、情報機器やフォルダの整理・整頓など環境整備に心掛けたりしている。	63↑ 前期 59 R6 69.2 R5 50.0
先生のほかに学習ボランティアさんなどに支援してもらった学習や活動は楽しい。	94 前期 96 R6 94 R5 92.8	学校では教師のほかに学習ボランティアさんなどに支援してもらって学習や活動を行っている。	97 前期 97 R6 94 R5 88.9	CS学校支援コーディネーターやCS担当と連絡・調整をしながら、「風の子太陽の子応援団(CSボランティア)」の協力を得ることができている。	85↓ ↓ 前期 91 R6 100 R5 90.0
		学校は、子供に寄り添い教育活動をしている。	93 前期 92 R6 97 R5 92.9	↑依頼数が増え、中川さんとの連絡調整の意識が高まったために大きく下がったと思われます。	
		学校は、学校学年だよりさくら連絡網などで学校の教育活動を知らせている。	96 前期 97 R6 96 R5 95.6	学校・学年便り、さくら連絡網やブログ等での連絡を通して、開かれた学校づくりができています。	60↓ ↓ 前期 86 R6 92.3 R5 97.0
		学校は子供のことを相談しやすい。	90 前期 90 R6 93 R5 87.5	↑ブログの写真への意識が高まったために大きく下がったと思われます。	
				職員の子供と向き合う時間の確保ができるような手立て(スマート会議、事務負担軽減、職場環境整備など)が講じられている。	80↑ ↑ 前期 73 R6 55.5 R5 43.0
				自分自身や学年等のタイムマネジメント、諸活動におけるPDCAを意識した仕事をしている。 ※R6 「自らのタイムマネジメントができています。」	58↓ 前期 62 R6 55.5 R5 43.0



相生小学校

# 風の子 太陽の子

学校便り

No. 16

R 8. 2. 10

## 後期学校評価報告

後期学校評価アンケートへの御協力ありがとうございました。

この結果をもとに、学校運営協議会委員の皆様からも御意見をいただきながら、来年度に向けて、よりよい教育活動を考えていきたいと思えます。

※ 児童・保護者・教職員に同様の質問をしたアンケート項目については、子供への質問文で表記しています。

※ 数字は、「よくできている」「できている」の合計

### 学び合い（知） になりたい自分に向かって主体的に学び合い、ともに成長する子

○授業で学ぶことの意味や目的、学ぶ良さが分かっている。

児童 93% 保護者 78% 教職員 86%

○学習のめあてを解決するための調べ方や話合いの仕方が分かっている。

児童 91% 保護者 73% 教職員 90%

○授業で課題について考えるときに、前に学んだこととつなげたり、友達の話聞いて自分の考えとつなげたり、友達の話聞いて自分の考えと比べたり違いや同じところを探したり、理由をつけて自分の考えを言ったりしながら学習を進めている。

児童 81% 保護者 76% 教職員 67%

学習に関する意識調査では、**昨年度より向上した前期と同様の結果**となりました。特に、学年だより等による情報発信が、保護者の理解向上につながっていると考えています。

一方で、既習内容や友達の考えと関連付けて学ぶ力については、児童の自己評価にやや低下が見られました。これは、**学び方を意識する中で、自分の課題に気付くようになった**ことが要因と考えられ、よい傾向であると捉えています。

今後も、子供主体の授業づくりとともに、学びの過程や成果を家庭へ積極的に発信していきます。

○家庭学習に進んで取り組んでいる。

児童 94% 保護者 90%

○持ち帰ったタブレットについて、学校や家庭の約束を守り、家庭学習で活用している。

児童 94% 保護者 90%

保護者の皆様の日頃の声かけや見守りのおかげで、子供たちは家庭学習に進んで取り組むことができている。心より感謝申し上げます。これからは、「**与えられた課題をこなす**」だけでなく、「**自分で学び方を考え、工夫しながら取り組む**」主体的な姿を大切にしていきます。**量や方法を自分で調整する力は、現代社会で求められる大切な力です。**今後も家庭学習の質の向上に向けて支援を続けるとともに、学年だより等で分かりやすく情報発信に努めてまいります。

**認め合い（心） 自他のよさを知り、認め合い高め合う子**

○友達のよいところに気付くことができている。

児童 96% 保護者 93% 教職員 91%

○よいことと悪いことを判断し、行動することができる

児童 91% 保護者 92% 教職員 90%

○いつでもだれに対しても挨拶をすることができる

児童 87% 保護者 75% 教職員 80%

○よりよい学級・学年・学校にするために進んで働くことができる

児童 89% 保護者 89% 教職員 89%

「友達のよさに気付く」「よいことと悪いことを判断して行動する」については、**前期より児童の意識がさらに高まり**、望ましい成長が見られました。今後も互いのよさを認め合い、規範意識を高める指導を継続していきます。

一方、「あいさつ」については**全体的に数値が低下しており、学校としての課題**と捉えています。明るいあいさつが日常化するよう、声かけや称揚、委員会活動による呼びかけを進めていきます。御家庭におきまして、進んで挨拶ができるようお声掛けをお願いいたします。

また、**進んで働く態度については児童の意識にやや低下**が見られましたが、活動の工夫や励ましを通して意欲の向上を図っていきます。

今後も、よりよい学級・学年・学校づくりに主体的に取り組む姿を育てていきます。

**鍛え合い 心身ともに健康で、鍛え合い、あきらめずに挑戦し続ける子**

○体を動かすことが楽しく、学校で進んで運動している。

児童 84% 保護者 83% 教職員 90%

○健康に気を付けて生活している。

児童 91% 保護者 91% 教職員 90%

○周りをよく見て安全に生活することができる

児童 91% 保護者 93% 教職員 90%

「運動に進んで取り組む」についてはやや低下が見られましたが、**運動会や持久走などの行事、日常の活動を通して仲間と運動する楽しさや粘り強さを育んできました**。インフルエンザの流行等も要因の一つと考えています。3学期は縄跳び運動を中心に、体力向上を図っています。

「健康に気を付けて生活する」は前期同様に高い意識を保っており、引き続き感染症対策と生活習慣の改善に取り組んでいきます。**どの学年においても、好き嫌いをなく給食を食べよう、残さず食べようという意識が高まってきています。すこやかチェック（ハンカチ・ティッシュ、爪、睡眠、朝ごはんのチェック）についても意識的に取り組んでいる学年・学級も多くなりました**。ぜひ御家庭でも声掛けをお願いいたします。

「安全に生活する」はやや向上しており、**保護者・地域の皆様の見守りに感謝申し上げます**。

今後も、基本的な生活習慣や安全意識を高め、子供たちが安心して元気に過ごせる環境づくりを進めていきます。

**キャリア教育** 自分の夢や目標をもち、夢や目標の実現に向けて努力することができる。

- 相手の話をよく聞き、友達と協力して行動している【温】 児童 91% 保護者 93% 教職員 85%  
○自分のよさに気づき、自信をもつことができている【高】 児童 82% 保護者 83% 教職員 89%  
○失敗をおそれず自分の考えた方法で繰り返し挑戦している【挑】 児童 87% 保護者 73% 教職員 84%  
○夢や目標に向かって努力したり、意欲をもって学んだりすることができる【夢】 児童 89% 保護者 79% 教職員 85%

どの項目についても、前期とほぼ同様の結果となりました。今後も引き続き、お互いに認め合う活動、自分らしく選択・判断しながら進めていく活動を大切にし、それに対して頑張っている姿を称揚していくことで自信をもたせたいと考えています。成功体験をし、多くの達成感を得ることを通して、目標や夢に向かっていくことの素晴らしさを感じてほしいと思っています。

**その他**

- 学校は楽しい。 児童 88%  
○先生はよいところをほめてくれる。 児童 90%  
○学校は、子供に寄り添い、教育活動をしている。 保護者 93%  
○学校は子供のことを相談しやすい。 保護者 90%  
○学校は、学校だより、学年だより、さくら連絡網などで、学校の教育活動を知らせている。 保護者 96%

前期とほぼ同様の結果となりました。今後も引き続き、全ての児童が学校が楽しいと言える環境を全職員でつくっていくよう努めます。そのためにも、**1日の中で最も長い「授業」が、分かりやすく、楽しくなるように努め、その中で、一人一人のよい姿を見つけ、認め、称揚すること、そして子供たち同士がお互いに思いやりをもって生活できる環境にすることを目指していきます。**保護者の皆様とも連携を図り、情報を共有しながら進めていけたらと考えています。

- 先生は、クロームブックやICT機器を使った授業をしてくれる。 児童 96% 保護者 95%

2学期も、ICT機器を積極的に取り入れた授業を進めていくことはもちろん、ICT活用のモラル指導にも力を入れてきました。**デジタル・アナログ、どちらのよさも子供たちに伝えながら、よりよい判断をして主体的・協働的に学んでいくことができるよう、日々研修に励みたいと考えています。**

- 先生のほかに学習ボランティアさんなどに支援してもらった学習や活動は楽しい。 児童 94% 保護者 97%

**地域の皆様、保護者の皆様の協力のおかげでCSボランティアの活動が充実しています。**

2学期は、運動会の片付け、持久走記録会の見守り、図書（読書祭り等）、総合、家庭科、図工、校外学習の見守りなど、本当に多くの活動に、多くの方がボランティアとして参加してくださいました。本当にありがとうございます。3学期も同様、ボランティアの皆様からの声を大切にしながら、よりよい活動にしていくことができるよう努めていきます。

自由記述の御意見の概要を紹介します。

### 「学校だより（行事予定）の用紙について」

⇒ さくら連絡網の文面の中でもお伝えしているように、学校だよりも学年だよりも、職員室前の廊下掲示に自由に取っていくことができるものを用意してあります。以下の写真を参考にしてください。



↑ 職員室前の廊下



↑ 下の緑の台紙の方が「自由にお取りください」になっています。

### 「夏場の体操服について」

⇒ 業者とも相談をし、令和9年度から変更していく方向で計画中です。この計画のめどがつき次第、改めて連絡をさせていただきます。

### 「掃除の頻度、教室の衛生面などについて」

⇒ 清掃時間に加え、各クラスで下校前に取り組んだり、教職員や用務員が日常的に環境整備を行ったりしながら、学校全体で環境を整えています。

掃除は、校内を清潔に保つためだけでなく、子供たちの基本的な生活習慣を育てたり、みんなで協力して活動する大切さを学んだりする、教育的な意味もある活動だと考えています。今後は限られた時間の中でも活動の質を高めるとともに、「ごみが落ちていたら拾う」「汚さないように気を付ける」といった、子供自身が環境に気付き、自ら行動できる姿を育てていきたいと考えています。

### 「学校の安全対策について」

⇒ 学校への不審者侵入などのニュースなどもあり、保護者の皆様が不安に感じることも当然かと感じます。対策としては、門や玄関等、昨年度より複数箇所に防犯カメラを設置している他、不審者が入ってきた際の職員の動き等の研修をしています。また、CSボランティアの方々など、地域の方が頻繁に来校されていることも、防犯対策に効果があると考えています。いつもありがとうございます。

合わせて、大変お忙しい中、子供たちの安全のために旗振り当番などの交通安全見守りをしていただき、心から感謝申し上げます。今後も各自治体や家庭の事情等に合わせて無理なく実施していただけたらと考えています。よろしく願いいたします。

### 「荷物が重なった時のタブレット持ち帰りの負担、また学習効果について」

⇒ 2学期から本格的にタブレット持ち帰りをスタートし、職員からも、子供や保護者の皆様からも様々な成果と課題が挙げられています。

荷物の負担に関しては、基本的にはタブレット持ち帰りの日は、他の教科書やノート等、宿題に直接関係のないものは道具箱や後ろのボックス等に置いて帰ってもよいということになっています。ただ、絵の具や習字セットなどが重なってしまった時は、負担が大きく、特に暑い時期は厳しかったかもしれません。持ち帰りができるだけ重ならないように計画的に持ち帰ったり、下校前に声を掛けたりしていきたいと思います。

また、タブレット持ち帰りの学習効果ですが、何かが劇的に変わる、よくなるというよりも、子供が学習用具の一つとして捉え、その用具に慣れるという意味合いが大きいかと考えています。その上で、タブレットでしかできないドリルパーク等の課題に取り組んだり、授業での学びの補充や復習等に活用したりすることができるように継続的、段階的に指導していきたいと思います。

### 「自分のクラス以外の学級閉鎖の様子も知らせるようになったことについて」

⇒ 今年度は、インフルエンザを中心とする風邪が流行する時期が長期間に及び、常に気を付けていないといけない状況でした。今後も、学級閉鎖等の情報を学校全体で共有し、少しでも感染リスクを減らしていきたいと思います。

### 「運動行事について」

⇒ 近年は情報教育や外国語教育の充実、主体的・対話的で深い学びの推進など、教育内容が広がり、学校全体のバランスを考えた取組が求められています。そのため、授業時数や他の教育活動との兼ね合い、また、子供たちの多様性や現在の教育の考え方を踏まえながら、体育行事の在り方について見直しを進めています。これまでのよさを大切にしつつ、すべての子供たちが安心して参加でき、教育効果の高い行事となるよう工夫してまいります。

持久走に関しては、学習指導要領では「体づくり運動」として、自分の体力に応じて継続して運動することが重視されており、他者との競争よりも、自分自身の成長や努力を実感することを大切にしています。そのため、記録への挑戦や達成感を味わう活動を中心に、生涯にわたって運動に親しむ力を育てる取組へと移行しています。今後も、子供一人ひとりの成長を第一に考えながら、よりよい形を模索してまいります。

### 「学級閉鎖時、タブレットの学習内容が保護者が把握しにくいことについて」

⇒ タブレットの classroom 上で課題や予定等が配信されているため、保護者の方に分かりにくかったということで申し訳ありません。さくら連絡網でも伝えることで、保護者の皆様と情報を共有していくように努めます。

これら以外にも忌憚のない御意見をいただきました。全てを掲載できず申し訳ありませんが、どの御意見につきましても、真摯に受け止め、よりよい教育活動を進めていきたいと思っています。

また、子供たちの素敵な表れを教えてください、教職員への励まし、労いの言葉をかけてくださったりする回答も多く、大変嬉しく思います。教職員一同、感謝申し上げます。

## 令和7年度 学校運営協議会自己評価表 まとめ（学校保管用）

### ＜評価項目1＞学校運営の基本方針について熟議することができたか。

ア よくできた（4人） イ できた（4人） ウ あまりできなかった（1人） エ できなかった（0人）

- ・基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞くだけでなく、授業参観をしての感想、地域行事「浜松まつり」での実践事例を話したりして、より良い学校運営のために委員が建設的な意見を述べることができた。
- ・校長先生から詳しく『学校運営の基本方針』を伺い、話し合いができました。立場が違う委員が意見を出し、目指す方向性が共有できました。
- ・校長からの説明は具体的であり、取り組みについて十分理解できた。各委員が責任感を強く抱き、プラス思考で積極的に発言し行動してくれていると毎回感じている。
- ・子供の学びの充実と安全・安心な学校生活を念頭に置き、各々の立場で意見交換することができた。
- ・温かくかかわる、積極的にコミュニケーションを大人からとる、については、自分が行った取り組みを伝えて理解してもらえた。
- ・基本方針はもとより、第2回の運営協議会では、学校側の設定で、教職員の皆様からも、貴重な意見を聞くことができた。また、基本方針が、現場の先生方にまで、行き届いていることも合わせて、確認ができ高く評価したい。委員についても改めて、多角的に理解できたと思う。
- ・学校より“支え合い”を強化したい、教職員の中でも話し合いを多くし、みんなで取り組んでいきたい、と言う話が合った。そして、今まで以上に、地域・保護者の方とのつながりも強化していきたい、協議会としても、協働センター、社協、体協など横の広がりもしていきたいと話した。
- ・今、学校がどのような方針をもって、学校教育を行っているのか、そのために必要なことは何かを知ることができた。
- ・昔の生活、遊びの講話など現場でのボランティア活動は、支障なくやってこれたと思いますが、運営について考えたこともなかったのが、覚えるのに精一杯で、満足・納得のいく発言は、できませんでした。

### ＜評価項目2＞承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動について熟議を進めることができたか。

ア よくできた（4人） イ できた（4人） ウ あまりできなかった（1人） エ できなかった（0人）

- ・熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になり、家庭学習をどのように進めるか、あいさつへの意識を高めるためには、どのようにすればよいかなどについて、様々な意見が出された。
- ・「できることをできる時に、できるところから」を合言葉に、クラブ活動・ボランティア・家庭科・園芸にと、幅広く活動ができました。自分を大切にする力、チャレンジする力の育成について、熟議できました。
- ・学校支援活動について、教育目標とのつながりや学校・家庭・地域の役割分担等授業参観や、学校側の説明をもとに委員間で活発且つ率直な意見交換ができた。
- ・重要性の高い活動に絞って熟議することで、濃い意見交換や自分の立場でできることのアイディアなどが多く出すことができた。

- ・学校の困りごとについて、自分なりの意見、提案をして、理解してもらえたと思う。
- ・委員の柔軟な発想で具体的な支援内容について語られるのが、素晴らしい。
- ・地域にタスキを配り、登下校や校区内での見守りを強化していく。また、ボランティアを増やしたり、学校へ多くの大人（ボランティア）が気楽に立ち寄れる場を設けたりすることで、子供たちを見守っていけるのではないかな。
- ・今、学校が何をしたいと考え、それをどうすれば実施できるか、学校で今必要としていることは何で、それを学校運営協議会として、どう協力すればよいかを考えることができた。
- ・自分の子供達が小学校に通っていた時は、交代勤務や消防団活動していて、母親任せでした。知らなかった情報が、飛び交う中、皆さんの意欲に感心するばかりでした。

### ＜評価項目3＞協議会での協議結果について、十分に情報発信を行ったか。

ア よくできた（2人） イ できた（5人） ウ あまりできなかった（2人） エ できなかった（0人）

- ・学校だより、CSだよりなどで、広報活動をしているが、まだ十分でない所もあるので、自治会の回覧でも回して、地域の方にも活動の様子を知ってもらうようにする。
- ・学校ホームページやコミュニティスクール便りの発行で、情報の発信ができていていると思う。保護者と話をする機会があるので、校長先生の熱い気持ちを伝えることができました。
- ・学校だよりで協議結果を知らせたり、ボランティアや応援団を募集したりして、情報発信を行っていた。また、保護者や地域、学校が活動した効果が見えた。
- ・一役員として周りに十分な情報発信ができなかった。
- ・自分はいいさつを軸に子供たちとの交流をと、考えているので、これからも、経験したことを伝えていこうと思う。
- ・趣向をこらして、十分行っていたと思う。委員間の横のつながりもしっかりできている。
- ・応援団の方々の活動をお便りにして、配信した。また、職員室前に写真を掲示した。
- ・個別に何が必要とされているかは分かったが、自分としてそれを人に周知できる体制が整っていなかった。
- ・登下校時の安全を確保する為に江東地区連合会として、自身や犬の散歩時、見守りボランティアのタスキをかけ、見守って頂くよう回覧し、募集する。

### ＜評価項目4＞今年度の評価を踏まえた来年度の目標。

- ・今年度の目標を継続する。
- ・学校、家庭、地域で一緒に子供達を育てる必要性と役割分担が大切だと思います。子ども見守り中のタスキをかけて、できることを活動していきたいと思います。
- ・出席委員から様々な建設的な意見が出ていた。それを具体化するためには、どのような手立てが必要か今後も学校と地域が連携するためのことを一緒になって話し合いを深めていきたい。
- ・地域へのタスキの普及⇒見守り強化、あいさつ強化。
- ・子供たちの主体性を育むCS活動。

- ・本年度同様、さらなる周知とご協力いただける体制を整える。
- ・来年度も、地域の子供たちと、より多くの交流ができるように、努力していこうと思う。
- ・“地域と共にある学校”を十分体現できていると思う。今後はこれを継続していくことが重要。
- ・学習ボランティア⇒第1歩として、“九九”検定ボランティア。
- ・自主性を高めるために⇒こどもボランティア浸透。
- ・参加して、1年目、3回の会合で、事業内容が分かってきました。しかしながら、自治会等、他の用事が多く、普段、学校のことについて考える余裕は、ありませんでした。授業、遊び、登下校などにもっと目を向け観察していきたいです。

(様式1)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(相生小)学校運営協議会長

<本年度の目標>

現在の取り組みを継続していきながら、さらなる周知と御協力いただける体制を整えていく。  
・温かくかかわる に重点を置き、積極的にコミュニケーションを大人からとっていく。  
・学校との最大の接点となる『風の子・太陽の子応援団』に現役の力を呼び込もう。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

特に“多様性を認め合う”“主体的な学び”について熟議をした。  
立場の違う委員が、建設的な意見を述べることで 目指す方向性が共有できて、より深い熟議ができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

「できることを できる時に できるところから」を合言葉に 内容の濃い意見交換や自分の立場でできることのアイディアや具体的な支援内容が多く出された。その結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。  
地域としては、“タスキ”を掛けて 子供の見守りをしていくよう共通認識を持った。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

江東地区連合会として、自身や犬の散歩時、見守りボランティアのタスキを掛けて見守っていただくよう回覧し、「風の子太陽の子応援団」を募集した。  
学校だより、CSだよりなどで広報活動をした。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた令和8年度の目標(取組の重点)

「多様性を認め合う」「主体的な学び」この二つに重点を置き、現在の取り組みを継続していきながら、さらなる周知とご協力いただける体制を整えていく。  
“タスキ”の周知、呼びかけに力を入れて 子供たちを見守っていく 風の子・太陽の子応援団に現役の力を呼び込んでいけるように呼びかけていく。

# 令和8年度学校運営協議会 年間計画(案)

令和8年4月1日～令和9年3月31日

※ 委員の過半数の出席がないと開催できません。

※ 感染症の感染拡大防止等、状況により、開催が中止、あるいは延期になる場合があります。

回	日時 会場	主な内容 熟議のテーマ 等	備考
1	令和8年 5月12日 火曜日 13:20～15:30 多目的室	熟議テーマ (1)学校運営の基本方針について 説明 ⇒ 質疑・応答、熟議  (2)夢育やらまいか事業に対する意見書について  (3)学校運営協議会の自己評価について	(授業公開) 13:25～13:55 各教室  ※教職員との顔合わせ 15:20頃～ (学年主任または学年団1名)
2	令和8年 7月30日 木曜日 13:20～14:50 多目的室	熟議テーマ (1)前期学校評価結果と今後の取組 熟議(課題を踏まえた改善策の検討)  (2)「多様性を認め合う姿」「主体的に学ぶ姿」を目指すために必要な支援について 熟議(学校・家庭・地域でできること)	※(1)のみ教職員全員参加
3	令和8年 12月16日 水曜日 13:00～15:10 多目的室	熟議テーマ (1)後期学校評価結果と今後の取組 熟議(課題を踏まえた改善策の検討)  (2)「風の子太陽の子応援団」の支援及び 学校との連携について 熟議(学校・地域でできること)	(授業公開 特日課5時間) 13:00～13:25 各教室  ※CSボランティア数名参加 ※学年主任及びフリー参加  ★学校運営協議会の自己評価 表→学校への提出 11/26(木)までに
4	令和9年 2月24日 水曜日 8:00～11:00 多目的室	熟議テーマ (1)学校関係者評価について  (2)来年度学校運営の基本方針について  (3)学校運営協議会の自己評価について	(授業公開) 8:15～8:35 「感謝する会」(体育館)  8:40～9:20 「風の子・太陽の子応援団 まとめの会」(多目的室)